

## 次年度作付に向けて計画的に準備をしましょう！

### 1 圃場選定

- ・漏生籽による異品種混入防止のため、前年と同一品種、または大豆・大麦等の転作あと圃場を選ぶ。

いずれの土壤地帯も未達が半数以上。

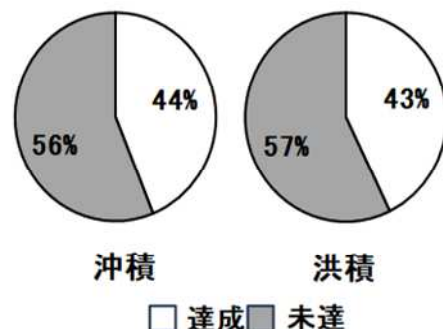


図1：置換性加里の目標値達成状況  
(R5 調査圃場数 149)

### 2 土づくり

- ⚠ LPss 乾田直播専用 (N-P-K:40-0-0) には、リン酸及び加里が含まれていません。
- ・代かきまたは耕起の前に、土壤改良資材および発酵けいふん等有機物を積極的に散布する（表1～2）。
- ・翌年6月下旬～7月上旬には中間追肥も実施する。

表1：主な土壤改良資材の成分と標準施用量

| 資材名               | 成分(%) |    |      |    | 施用量<br>(kg/10a) |
|-------------------|-------|----|------|----|-----------------|
|                   | ケイ酸   | 苦土 | アルカリ | 加里 |                 |
| 加里入り<br>シリカエールプラス | 23    | 5  | 41   | 3  | 100             |

表2：堆肥の秋施用の目安

| 堆肥名    | 成分(%) |     |     | 施用量(kg/10a) |     |     |     |
|--------|-------|-----|-----|-------------|-----|-----|-----|
|        | 窒素    | リン酸 | 加里  |             |     |     |     |
| 発酵けいふん | 2～3   | 6～7 | 4～6 | 乾田          | 150 | 半湿田 | 100 |

### 3 畦塗り

- ・湛水後の減水深を小さくするために畦塗りを丁寧に行い漏水の防止に努める。

### 4 耕起および代かき

- ・水稻および大豆収穫後はすぐに耕起し、作物残渣（稲わら、大豆茎葉など）の腐熟を促進する。
- ・代かきは10月～11月に行い、浅水状態で均平を心がける。



図2：代かき後の排水溝の設置

### 5 排水溝の設置

- ・春の播種作業時に圃場が乾くように、代かき後は自然落水とし、圃場の減水が進んだら、管理機等で排水溝を設置し、水尻と確実に連結させる（図2）。
- ・排水性が悪い圃場や局所的に水が溜まりやすい場所には、溝を多く設置する。

8/20～10/20 は「秋の農作業安全運動」実施中！  
9/15～11/15 は「秋の土づくり運動期間」、10/1 は「土の日」です。

#### 【お問合わせ先】

JAいみず野営農指導課 TEL52-6805 高岡農林振興センター農業普及課射水班 TEL26-8478  
JA いみず野ホームページ <http://www.ja-imizuno.or.jp/>